

コース名		ユニット科目名						対象学年		
		医学・医療と社会						4		
開講学期		科目責任者			副責任者			全体資料		
1・2学期		勝山 博信			大槻 剛巳			無		
一般学習目標(G.I.O)										
<ol style="list-style-type: none"> 人間をとりまく自然、社会環境因子と健康の関連を探求し、疾病の予防、早期発見および健康の維持増進を図る科学領域において、健康問題を個人の問題としてのみとらえず、様々なレベルでの集団、社会における問題として解析し、対処することを理解する。 わが国の公衆衛生および予防医学の現状と問題点を把握し、その対策へのアプローチを理解する。 種々の環境、健康、栄養、労働にまつわる社会的問題の医学的側面を評価し、自分なりの意見を身につける。 我が国の社会保障制度を理解し、社会と医療の関わりについて理解する。 種々薬毒物の生体への影響を理解する。 乱用薬物の生体影響と関連法規を理解する。 見学実習を通して医学生並びに医師に必要な知識・態度・行動を身につける。 										
個別的行動目標(S.B.O)										
<ol style="list-style-type: none"> 公衆衛生および予防医学の意義を説明できる。 健康の定義、健康障害の要因、健康の保持増進方法等を説明できる。 主な生活習慣病の現状、リスク要因、予防対策について説明できる。 疫学概念、手法、指標の意義等について説明できる。 母子保健の概要(意義、対象、現状、対策等)、母体保護、人類遺伝学等の概要を説明できる。 感染症の流行要因、予防対策、流行状況等を説明できる。 学校保健の概要(意義、対象、現状、対策、行政等)を説明できる。 予防医学について関連する資料に文献的考察を加えて説明することができる。 生活環境因子による健康障害について説明できる。 精神障害者の現状、保護・医療・福祉について説明できる。 産業中毒ならびに職業性疾患について病態、予防、対策、行政管理等を説明できる。 種々の毒薬物による病態発症の原理と特性を説明できる。 薬物乱用の社会医学的意義、関連法規ならびに医学的知識を説明できる。 医師法と関係法規、薬事、診療情報と諸証明書について説明できる。 死の概念について説明できる。 健康・疾病・障害の概念と社会環境、保健・医療・福祉の資源について説明できる。 国民栄養の現状と対策を説明できる。 社会保障制度と医療経済について、国際保健も踏まえて、説明できる。 高齢者の現状、老人保健福祉と介護保険制度について説明できる。 健康な生活に関わる栄養の役割を説明、実践ができる。 患者の人権と医の倫理、医療の質と安全の確保について説明できる。 保健・医療・福祉・介護関係の施設、産業現場の見学実習を通して、見学者、医学生、医師に必要な人間性及び態度を身につけ、適切に行動できる。 										
授業計画					コアカリ参照					
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目	コアカリ項目	コアカリ項目
1	4/4	水	2	講義	大槻	衛生	見学実習の心得(全員出席し、心得を取得すること:欠席の場合、見学実習自体への参加が不能となる[=欠点となる])	B-1-(1)-G B-2-(1)-G	B-4-G B-5-G	
2	4/6	金	4	講義	藤井	健康管理	患者の人権と医の倫理、死と終末期ケア	A-1-(1)	A-1-(2)	D-7-G
3	4/12	木	1	講義	大槻	衛生	食品保健:食中毒	E-1-(1)-5)		
4	4/13	金	4	講義	藤井	健康管理	公衆衛生と予防の考え方、健康保持増進	B-(1)-1)	B-3-5)	
5	4/18	水	2	講義	大槻	衛生	食品保健:機能と安全性	B-(5)-11)		
6・7	4/18	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李	衛生	見学実習1回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
8	4/20	金	4	講義	藤井	健康管理	死因別死亡の状況	B-3-2)		
9	4/23	月	2	講義	大槻	衛生	環境保健:地球環境	B-1-3)		
10	4/25	水	2	講義	勝山	公衆衛生	学校保健	B-2-3)		
11	4/27	金	4	講義	関	健康管理	母子保健:現状と動向	B-2-3)		
12	5/2	水	2	講義	勝山	公衆衛生	精神保健	B-2-3)		
13	5/9	水	2	講義	西村	衛生	環境保健:上下水道	F-1-3)		

14 ・ 15	5/9	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李・寺本	衛生 非常勤/医福大	見学実習2回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
16	5/11	金	4	講義	関	健康管理	母子保健:制度と母体保護	B-2-3)		
17	5/14	月	2	講義	山根	公衆衛生	感染症:感染成立の要因、予防と流行	B-5-11)		
18	5/15	火	2	講義	富田	医用中毒	中毒および治療の概要	C-3-(4)-①-1)	E-4-(1)-1)	E-4-(3)-①-5)
19	5/16	水	1	講義	勝山	公衆衛生	障害者福祉、国際保健	B-1-2)		
20	5/18	金	4	講義	関	健康管理	社会環境の変動、人口統計	B-3-1)	B-3-6)	
21	5/21	月	2	講義	秋山	医療資料	社会保障の概念と制度	B-5-1)	B-5-2)	B-5-6)
22	5/22	火	2	講義	富田	医用中毒	中毒:医薬品, 自然毒など	E-4-(3)-①-2)	E-4-(3)-①-3)	
23	5/23	水	1	講義	山根	公衆衛生	感染症:主要感染症の疫学像	B-5-11)	B-5-12)	
24	5/25	金	4	講義	関	健康管理	疾病・傷害統計	F-3-2)		
25	5/29	火	2	講義	富田	医用中毒	中毒:揮発物, ガス類, 農薬など	E-4-(3)-①-4)	E-4-(3)-①-8)	
26	5/30	水	2	講義	山根	公衆衛生	疫学:定義と指標	B-3-4)		
27	5/31	木	1	講義	佐藤	健康管理	生活習慣病と保健対策	B-4		
28	6/4	月	2	講義	山根	公衆衛生	疫学:研究方法	B-3-3)		
29	6/5	火	2	講義	富田	医用中毒	中毒:金属, 有機溶剤, 濫用薬物など	E-4-(3)-①-6)		
30	6/6	水	2	講義	勝山	公衆衛生	産業保健:労働衛生対策	B-5-4)		
31 ・ 32	6/6	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李	衛生	見学実習3回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
33	6/11	月	2	講義	秋山	医療資料	医療経済	B-5-1)	B-5-2)	B-5-6)
34	6/13	水	1	講義	山根	公衆衛生	疫学:疫学とEBM	B-8-4)		
35	6/18	月	2	講義	勝山	公衆衛生	産業保健:労働災害と職業性疾病	B-5-4)		
36	6/20	水	1	講義	勝山	公衆衛生	産業保健:産業中毒	B-5-4)		
37	8/24	金	4	講義	大槻	衛生	環境保健:公害と環境汚染	B-1-3)	B-1-4)	
38	8/28	火	4	講義	藤井	健康管理	高齢者の現状、医療、福祉	B-5-3)		
39	8/29	水	2	講義	大槻	衛生	環境保健:廃棄物、放射線、住居環境	B-1-3)	B-1-4)	
40 ・ 41	8/29	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李	衛生	見学実習4回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
42	8/31	金	4	講義	藤井	健康管理	介護保険制度	B-5-2)		
43	9/5	水	2	講義	西村	衛生	環境保健:騒音と振動	B-1-3)	B-1-4)	
44	9/7	金	4	講義	関	健康管理	診療情報と諸証明	B-7-G		
45	9/26	水	2	講義	勝山	公衆衛生	医師法と関係法規	B-5-7)	B-5-13)	
46 ・ 47	9/26	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李・寺本	衛生 非常勤/医福大	見学実習5回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
48	9/28	金	4	講義	関	健康管理	栄養	B-4-G		
49	10/10	水	2	講義	勝山	公衆衛生	保健・医療・福祉の資源:医療法と医療計画	B-5-7)		

50 ・ 51	10/10	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李・寺本	衛生 非常勤/医福大	見学実習6回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G
52	10/16	火	1	講義	山根	公衆衛生	医療の質と安全の確保	A-2		
53	10/23	火	1	講義	秋山	医療資料	薬事	B-5-13	B-(8)-1)	A-2-(1)-4)
54	10/31	水	2	講義	勝山	公衆衛生	保健・医療・福祉の資源:医療施設、医療従事者	A-3-(3)-G		
55 ・ 56	10/31	水	3・4	実習	大槻・西村・ 武井・松崎・ 李・寺本	衛生 非常勤/医福大	見学実習7回目	B-1-G B-2-G	B-4-G B-5-G	E-6-G

評価方法

本試験(1学期末及び2学期末)に1~2学期に7回実施する見学実習の評価(感想, レポート, 研修態度その他で総合的に判断)を加味する。

見学実習に正当な理由無く欠席した場合は, 欠点とする。

見学実習の評価の比率は, おおよそ20%程度と考えているが, 研修態度等で変更する場合もある。

試験(本試験, 補充試験)は原則的にマルチメディア教室でのPC受験の予定である。

補充試験は, 原則として1学期、2学期とも実施の予定である。その場合, 対象者は本試験に見学実習評価が加味された評価で, 60点未満の学生とする。

補充試験の結果には, 見学実習評価は加えない。

教科書

サブノート保健医療論・公衆衛生学 2012, 岡本悦司ほか/監修 医療情報科学研究所/編集, 出版社名 メディックメディア, ISBN 978-4-89632-411-2

参考書

国民衛生の動向2011/2012 第58巻第9号:厚生統計協会編 ISBNコード無し

NEW 予防医学・公衆衛生学:岸玲子、古野純典、大前和幸、小泉昭夫編:南江堂 ISBN4-524-22474-2

標準公衆衛生・社会医学:岡崎勲、豊嶋英明他編:医学書院 ISBN4-260-00055-1

準備学習等

教科書(上記)を見て各自予習すること。

見学実習においては, 態度, 服装, 身嗜み, 集合その他総合的に評価する。将来医師となる者として, 保健医療・公衆衛生・衛生等に, 必須の施設の見学であること, また, 先方の施設の方々には, 医学教育に多大なご理解を頂き, ボランティアで参画いただいていることを, 良く弁え, しっかりと学習すること。質問なども積極的に行うこと。

担当教員からのメッセージ

予習復習を忘れず行うこと。

質問、学習方法など相談は, 主任 公衆衛生学 勝山博信までメールで可(katsu@med.kawasaki-m.ac.jp)。

科目責任者連絡先

katsu@med.kawasaki-m.ac.jp